

令和6年度使用

小学校用教科用図書研究資料

図画工作

宮崎県教育委員会

Ⅰ 教科目標の達成及び単元（題材）の構成・配列等

〔観点Ⅰ〕 学習指導要領に示された教科の目標を達成するために、構成・配列等について、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 図画工作科の目標を達成するために、発達の段階を考慮し、実践に適切な季節及び行事、学習指導要領で扱われる内容や材料・用具に応じて、題材と題材のつながりを意識した構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、学習指導要領における〔共通事項〕を意識しながら、ICT 機器も用具の一つととらえて活用することができる場面が各題材に配列されている。</p> <p>(3) 楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を育てるために「ぞうけいあそび」「え」「りったい」「こうさく」「かんしょう」の五つの分野で構成されている。身に付けた資質・能力を次の題材で生かすことができるように、表現と鑑賞の題材が連続して配列されている。</p>
116 日 文	<p>(1) 図画工作科の目標を達成するために、発達の段階を配慮して題材が配列されているのに加え、他教科等に関連する題材を扱い、教科横断的な視点で学習を組み立てられるような構成・配列の工夫が見られる。</p> <p>(2) 造形的な創造活動を目指すために、学習指導要領における〔共通事項〕を意識しながら、身近なものから諸外国の美術作品まで、多様な形や色に出会える題材が配列されている。</p> <p>(3) 楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を育てるために「造形遊びをする活動」「絵に表す活動」「立体に表す活動」「工作に表す活動」「かん賞する活動」の五つの分野で構成されている。身に付けさせたい資質・能力を相互に関連させながら活動に取り組めるように、一つの題材の中で、表現と鑑賞の活動を共に扱うことができるよう構成されている。</p>

2 内容や指導の充実

[観点2] 主体的・対話的で深い学びを通して、目指すべき資質・能力を確実に身に付けさせるために、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 場所や材料から感じたり発想したりしたことを進んで表現できるよう、学習のヒントに対して思ったことや試したことが示されているとともに、製作のポイントが分かりやすく掲載されている。また、言語活動や協働で行うことを重視した題材が多く設定されており、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材で、必要な技能や作り方が丁寧に分かりやすく写真やイラストで説明されており、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考を可視化するための発想を広げる「アイデアシート」などが示され、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学習したことが生活や社会に広がるよう「つながる造形」が設定されている。また、地域の美術館や外国の児童の作品などが題材の最後に紹介されており、生涯にわたって楽しく豊かな生活を創造する「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 場所や材料から感じたり発想したりしたことを進んで表現できるよう、児童同士で思ったことや試したことが示されているとともに、児童の参考作品が多く掲載されている。また、表現や鑑賞の活動を通して、友達と話し合ったり協働したりする様子が多く紹介されており、「主体的・対話的で深い学び」を展開するための工夫が見られる。</p> <p>(2) 各題材で、多様な表現方法や作り方が丁寧に分かりやすく写真やイラストで説明されており、生きて働く「知識及び技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 思考を可視化するためのシンキングツールや児童のワークシートなどが掲載され、「思考力、判断力、表現力等」を育成できるような工夫が見られる。</p> <p>(4) 学習したことが生活や社会につながるよう「広がる図工」が設定されている。また、「教科書美術館ミニ」が題材の最後に紹介されており、生涯にわたって楽しく豊かな生活を創造する「学びに向かう力、人間性等」を育成できるような工夫が見られる。</p>

3 利便性の向上

〔観点3〕 学習効果や使用上の利便性を高めるとともに児童にとって分かりやすいという視点から、どのような工夫が見られるか。

発 行 者	概 評
9 開隆堂	<p>(1) 巻頭・目次には、図画工作科の学習を通して育つ資質・能力が三つのキャラクターで示されており、題材を示す際に、学習のめあてとヒントを表す役割を果たしている。また、年間の学習活動が写真と五つの分野を表したマークで示されており、児童が一目で年間の学習の内容を把握できる工夫が見られる。</p> <p>巻末には、8ページの「学びの資料」を設け、材料・用具の使い方や、発想・構想のトレーニングが集約されており、主体的な活動の支援が図られている。</p> <p>(2) 題材の示し方は、活動に取り組む児童の写真や、児童作品の写真などが大きく掲載されており、紙面配置の工夫が見られる。特にその題材で重点的に育てたい資質・能力に関する学習のヒントが示されており、めあての明確化が図られている。また、QRコードを開くと、導入から発想の広げ方、用具の使い方、ふりかえりまでを確認することができ、児童が主体的に活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>
116 日 文	<p>(1) 巻頭・目次には、図画工作科の学習を通して育つ資質・能力がピクトグラムで示されており、題材を示す際に、学習のめあてを表す役割を果たしている。また、教科書の使い方が一つの題材を例に挙げて詳しく説明されているとともに、児童が主体的に図画工作科の学習の進め方を把握できる工夫が見られる。</p> <p>巻末には、8ページの「材料と用具のひきだし」を設け、用具の基本的な扱い方やポイントを学ぶことができるようになっており、主体的な活動の支援が図られている。</p> <p>(2) 題材の示し方は、実際の授業の様子や児童の作品と発言を掲載するとともに、「めあてのヒント」と「鑑賞のヒント」が児童の思考に沿った表現で示されている。特に、写真と関連させ、学習の流れが分かりやすい紙面配置の工夫が見られる。また、用具の使い方や作品の作り方を二次元コードで確認できるとともに、紙面でも図や写真で示されており、児童が多様な方法で主体的に活動に取り組みやすい工夫が見られる。</p>

種目 図画工作

※ 表内の数値は、図画工作で設定した内容項目により全発行者について調査したものであり、数値の大小を表面的にとらえるのではなく、具体的な内容と合わせて各発行者の特徴をとらえる参考とすること。

視 点	発行者		9	開隆堂	116	日文		
	共通	① 総ページ	全		400		410	
5・6上				66		70		
② 重さ		グラム	全		1501		1423	
			5・6上		247		242	
③ サイズ		縦(cm)×横(cm)			29.7×21.0		29.9×21.2	
種目別	題材	④ 造形遊び	全		18		19	
			5・6上		2		2	
		⑤ 絵、立体、工作	絵	全		42		40
				5・6上		7		6
			立体	全		19		22
				5・6上		3		5
			工作	全		44		31
				5・6上		7		5
		⑥ 鑑賞	全		37		17	
			5・6上		8		3	
		合計	全		160		129	
			5・6上		27		21	

※ サイズ以外の項目で全学年の教科書（各社とも6冊）と5・6年上の2種類の数値を計上している。

※ 数値に関しては、各者の解説書をもとにしている。

※ 宮崎県に関する記述は、以下に見られる。

- ・開隆堂 ～ なし
- ・日本文教出版 ～ 5・6上 P68